鷹 栖 町 の 沿 革

明治	2年	蝦夷地を北海道と改め、11国86郡を設ける
	19年	「国見の碑」近文山に建立（昭和41年旭川市文化財史跡指定）
	24年	近文原野に埼玉県人小暮彖太郎らが移住
	25年	２月４日　鷹栖村開村 石狩川右岸の旭川近文地区･東鷹栖･江丹別の他、愛別町･比布町･上川町を含む広大な流域だった
	26年	山崎千松が水稲試作に成功
	27年	前年の岩手県団体のほか、山梨･石川･徳島･広島各県の団体移住、田中･宮腰･松平の各農場が創設され移住が活発となる
	28年	鷹栖村戸長役場が１線９号に開設
	29年	13線10号の大谷派説教所に寺子屋開設
	36年	近文土功組合設立
大正	10年	電気利用組合を結成
	13年	鷹栖村を東鷹栖と改称し、同時に東鷹栖･鷹栖･江丹別の３村に分割（村役場を10線10号に設置）
昭和	22年	村長公選となり、初代村長に栗林由松 鷹栖第一･第二中学校創立
	23年	鷹栖･北野農業協同組合設立
	27年	鷹栖高等学校（定時制）創立
	35年	商工会設立
	36年	体育協会･文化協会創立
	42年	旭川から導水し上水道給水開始
	44年	１月１日　町制を施行
	47年	大成地区集落再編事業実施
	50年	総合健康診査始まる
	51年	オサラッペ川が国直轄河川に
	52年	現在の役場庁舎が移転落成
	53年	郷土資料館開館 北野神社獅子舞が町文化財（民族）に指定
	57年	郷土誌「オサラッペ慕情」発刊 丸山に「句碑の森」創設、初願碑
	59年	「治水」碑を町文化財史跡に指定
平成	4年	開村100年式典実施
	6年	メロディーホール落成
	11年	サンホールはぴねす（福祉）落成
	14年	統合で鷹栖小･北野小２校体制に
	15年	資料館に「国見の碑」ジオラマ
	24年	旧第二中に農機具類を整備展示 新郷土たかす第50号記念号を発刊
	30年	鷹栖地区住民センター改築 鷹栖町図書室リニューアル
令和	元年	町制施行５０周年 鷹栖町文化財マップ作成

鷹栖町郷土資料館

【住所】北海道上川郡鷹栖町南１条１丁目
【電話】０１６６－８７－３０２８
【開館日】毎週水・土曜日
【開館時間】
４～９月：午前１０時～午後５時
10～３月：午前１０時～午後４時
※平日のみ鷹栖町教育委員会でもお問い合わせを受け付けています。
★大型展示室（鷹栖町16線15号）★
トラクターや農機具等、大型郷土資料を展示。
５～9月のみ開館。教育委員会へ要事前予約。
≪鷹栖町教育委員会≫
電話：０１６６－８７－２０２８

記念スタンプ

町の歴史を詳しく紹介
鷹栖町ホームページ

旬な話題を提供！
鷹栖町フェイスブック

古からの時を超えて響く、壮大なロマン。

鷹栖町郷土資料館

郷土資料館館内図

馬の時代-蹄鉄所-
農業や人の移動で馬が主役だった時代。ひづめを守る蹄鉄は欠かせず、多くの蹄鉄所が存在した。

曲がった川-オサラッペ-
町内を貫流し至る所で屈曲蛇行する原始の川。治水工事は、分村の引き金になるほどであった。

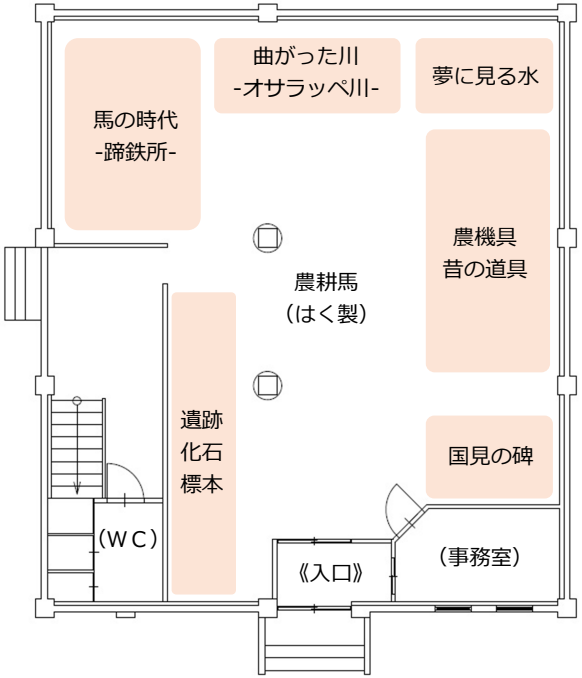
夢に見る水
白い米が食べたい。石狩川から取水する溝路をつくる難工事を成し遂げ、待望の水が引かれた。

農機具・昔の道具
農業の町として発展してきた鷹栖町。幾多の苦難を乗り越えてきた先人たちの思いが垣間見える。

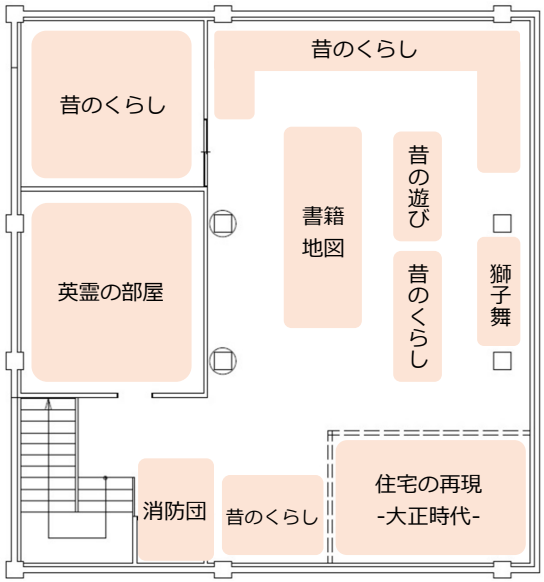
国見の碑（ジオラマ）
岩村通俊が上川の開発を決意し、明治 19 年に建立した。上川開拓史上最も貴重な記念碑である。

遺跡・化石・標本
町内の遺跡等から発掘された石器や化石を展示。採集された昆虫の標本、動物のはく製も。

【１階】



【２階】



消防団
町の安全・安心を守り続けている消防団。今は見られない刺子や腕用ポンプ車も。

住宅の再現-大正時代-
暖房は囲炉裏のみであった昔。零下 30°Cの極寒に耐え、開拓にはげんだ先人たちの日常を。

獅子舞
富山県から伝承された町指定文化財第１号「北野神社獅子舞」。毎年 8 月 4 日の例大祭にて演舞。

書籍・地図
昔の鷹栖町の航空写真が見られる。大正・昭和に刊行された大衆誌や冊子等の資料も閲覧できる。

昔の遊び
今と違って、ゲームもスマホも無い時代。メンコやカルタなど、遊びの定番だった品々が並ぶ。

英霊の部屋
日本で最も不幸であり、忘れてはならない戦争の時代。永遠の平和国家であるよう願いを込めて。